

令和7年2月27日

智頭町議会議長 谷口 雅人 様

智頭町議会議員 北川 貴将
仲井 莖
岡田 光弘
宮本 行雄
田中 賢
谷口 翔馬
波多恵理子
大河原昭洋
安道 泰治
谷口 雅人

議員派遣結果報告書

令和6年12月12日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

1. 期 日

令和7年1月21日

2. 派遣場所

岡山県勝田郡奈義町豊沢306-1「奈義町役場」

3. 内 容

智頭町・奈義町議会議員交流会

4. 目 的

智頭町、奈義町の両町が抱える諸問題についての情報交換並びに意見交換を行い、今後の議会活動及び議員活動に資する。

5. 所感等

奥正親町長の歓迎挨拶の後、両町議会の自己紹介に続き、なぎっ子こども園、奈義中学校の施設の概要説明を受けた。なぎっ子こども園は敷地面積8,635.22㎡、延床面積2,636.19㎡と広大であり、「ナギミチ」と呼ばれる全長100m幅7mの大空間を中心に年齢別に部屋が配置されていた。園庭は年齢別に特色ある構造であり、子どもの生き生きとした遊び場となっている。さらに、園の運動会等には隣接する総合グラウンドが利用できるようになっており、実に合理的であった。

移動の途中では昨年開催され、好評であったため延長展示されている「森の芸術祭晴れの国、岡山」の展示を見学した。真逆さまの自然は普段見る山の姿を真逆表現する大胆さがあり圧巻であった。

次に、奈義中学校を見学したが、敷地面積32,118.82㎡、延床面積5,062.40㎡とこども園の3.7倍ほどの敷地であり、岡山県では最後に整備された耐震中学校校舎とのことであった。奈義中学校は従来のイメージを大きく変える発想を取り入れており、「ナギヒロバ」と呼ばれる大空間を中心に水平線に伸びる各棟を四方に配置し、ゆったりと広がる町の田園風景と調和する校舎を実現しており、校舎というよりプラザといった印象を受けた。

こども園は一つの保育園と二つの幼稚園を統合し、新設の施設を整備しており、総工費は17億7千万円であった。中学校は長い議論を経て総工費20億7千万円で新築しており、いずれも巨費を投じて教育施設の整備を行っている。町政施行70周年を迎える本年に記念事業的な性格の事業であるが、過疎債を財源としており、自衛隊が駐屯する町の財政支援の交付金を基金にした他にはないメリットを最大限に生かした大胆な事業は子育てに対する強い思いを体現する自負とを感じる。また、広大な用地は高原という町の特徴を存分に発揮している。さらに、ソフト面ではALTをこども園に3名、小学校に6名、中学校に3名の計12名配置しており、英語によるコミュニケーション能力の向上に留まらず、地方の町に育つ子どもの「物怖じ」しない力を育てることを目指している。

千メートル級の山に囲まれた狭隘な地形の智頭町と単純に比較することは難しいが、町の特徴を最大化することは両町の発展には欠かせないと強く感じた。